

パブリックコメント用冊子（本編）

資料 4 - 2

2 人口の将来展望

(1) 将来展望人口

国の長期ビジョン等を踏まえ、下記のとおり仮定値を設定して、本市の「将来展望人口」を推計します。

<仮定値>

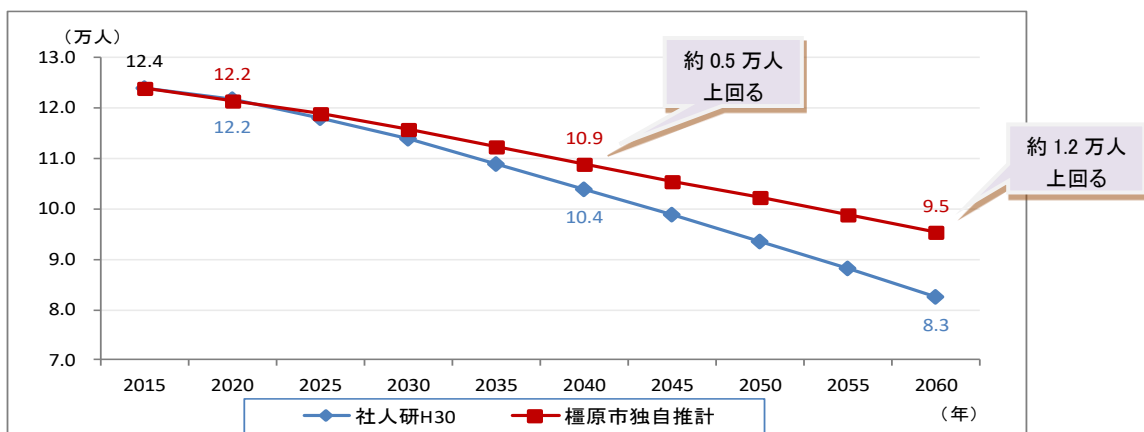
合計特殊出生率 (自然増減)	本市の合計特殊出生率(1.37)を開始値とし、2040年に国民希望出生率(1.83)に、2055年に人口置換水準(2.07)に上昇すると仮定します。(比例配分方式で設定)
移動率 (社会増減)	2020年までは社人研H30の設定値(2010年から2015年の移動傾向が2045年まで続く)、2020年から2045年の転出超過は、社人研H30の設定値の1/2、転入超過は設定値のまま、2045年以降は2045年と同じ値で推移すると仮定します。

これらの仮定により、将来展望人口は、2040年(令和22年)は109,012人、2060年(令和42年)は95,465人となります。

将来展望人口

中期目標(2040年): 109,012人

長期目標(2060年): 95,465人



(2) 目指す方向性

人口増加曲線を描くことが理想ですが、短期間で実現することは難しいため、まずは、現状の人口減少の改善に取り組み、目標の達成を目指します。取り組みを継続する中で、目標の達成が見込まれる場合は、新たな曲線を設定し、更なる改善を図ります。

